

# 議会ガイド



平成26年度 道の駅こどもり「ポントマリ」オープン

## 『なかとまりヤリイカ味覚まつり』

4月26・27日(土・日)開催

4月26・27日(土・日)、竜泊ライン開通にあわせ、道の駅がオープンした。初日・2日目は『なかとまりヤリイカ味覚まつり』として、中里中学校吹奏楽部の演奏から始まり、ホッケつみれ汁無料サービス、ヤリイカ釣り、タイ・タコ・ワカメの直売等が行われ、多くの人で賑わっていた。

### 第1回定例会 (平成26年3月)

目次	■ 第1回定例会	……………	P 2
	■ 予算特別委員会	……………	P 4
	■ 一般質問	……………	P 5
	■ 議会の動き	……………	P 8

# 新住宅 建設へ向けて

## 平成二十六年年度町予算 六十九億七千二百万でスタート

### 第1回 定例会

3月5日～13日

平成二十六年第一回定例会が、三月五日から十三日までの日程で開かれました。十日には一般質問が行われ、塚本悦子議員、川山光則議員、荒関富雄議員の三名が、町側の答弁を求めました。十一日と十二日には、予算特別委員会(委員長青山雅晴、副委員長川山光則)が行われ、平成二十六年度町一般会計及び各特別会計の予算の審議が行われました。最終日の十三日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計当初予算など議案三十一件、報告三件、発議二件を、いずれも全会一致で可決、同意、承認しました。

#### 補正予算

■一般会計補正予算第十号  
主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費

○財政調整基金積立金

一億九二四万円

□民生費

○介護保険事業特別会計繰

出金

一〇〇九万円

□衛生費

○国民健康保険特別会計繰

出金

一三一一万円

□土木費

○町道除雪業務委託料

二〇〇〇万円

■国民健康保険特別会計補

正予算第五号

事業勘定の歳出は、保険給付費及び共同事業拠出金の減額。歳入は、国庫支出金、県支出金、共同事業交付金及び繰入金等を調整のうえ計上。

■農業集落排水事業特別会

計補正予算第一号

施設管理費の電気料二五万円を追加。

■漁業集落排水事業特別会

計補正予算第一号

長期債利子一七万円を減額。

診療施設勘定の歳出は、既定予算額の精査等により

医療費を減額。歳入、事業

勘定繰入金の追加と診療取

入を調整のうえ計上。

静和園運営調整基金六一

八万円を追加。

■特別養護老人ホーム静和

園事業特別会計補正予算

第四号

■後期高齢者医療特別会計

補正予算第二号

連合納付金一〇四三万円

を減額。

□居室介護サービス給付費

四六一一万円

□施設介護サービス給付費

三六四一万円

#### 指定管理

■折腰内交流施設に係る指定管理者の指定

○管理者：海峡小泊

○期 間：三年間

■徐福の里物産品直売所に

係る指定管理者の指定

○管理者：小泊観光協会

○期 間：三年間

■折腰内オートキャンプ場

に係る指定管理者の指定

○管理者：(株)小泊うみどり

○期 間：三年間

○期 間：三年間

■すすくことまり館に係

る指定管理者の指定

○管理者：(株)小泊うみどり

○期 間：三年間

○期 間：三年間

○期 間：三年間

○ 期 間…三年間  
 ーむ振興社

■ 基幹集落センターに係る  
 指定管理者の指定

○ 管理者…小泊漁業協同組  
 合  
 ○ 期 間…三年間

■ 高齢者生活福祉センター  
 に係る指定管理者の指定

○ 管理者…社会福祉法人中  
 泊町社会福祉協  
 議会  
 ○ 期 間…三年間

■ 中里職業能力開発校に係  
 る指定管理者の指定

○ 管理者…職業訓練法人中  
 里職業訓練協会  
 ○ 期 間…三年間

## 条例関係

■ 町職員の給料に関する条  
 例の一部改正

平成二十六年年度職員を通  
 勤手当を町独自の上限に改  
 める。

■ 町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴  
 い、地方税法上行われる処  
 分について、理由の提示が  
 必要となったため、条例を  
 一部改正するもの。

## 人事案件

■ 中泊町固定資産評価審査  
 委員会委員の選任

任期が五月十六日で満了  
 となることから、現委員阿  
 部鐵雄氏、阿部二郎氏、佐  
 藤恭一氏を再選任するもの。

■ 教育委員会委員の選任

宮越寛氏の任期が、平成  
 二十六年五月十七日をもつ  
 て満了することに伴い、後  
 任の委員として、同氏を再  
 任するもの。

## その他

■ 町有財産の無償貸付

(株)ヒロセより使用貸借期  
 間の延長願い出があり、誘  
 致企業に対する奨励措置と

して無償貸付けするもの。  
 土地面積九六〇平米

■ 西北五環境整備事務組合  
 規約の変更について

事務所の変更に伴う、規  
 約の一部を改正するもの。

## 発議

■ 議員派遣について

町議会会議規則の規定に  
 より議員派遣をするもの。

■ 看護師等の夜勤労働改善

・ 大幅増員を求める意見  
 書  
 安全・安心の医療・介護  
 実現のための看護師等の大  
 幅増員・夜勤改善を図る対  
 策を講じられるよう、国関  
 係省庁に意見書を提出する  
 もの。

## 専決処分

■ 一般会計補正予算第九号

除雪ロータリー車が故障  
 したため、修繕料二六九万

円を追加。

■ 西北五広域福祉事務組合  
 に係る事務及び規約の変  
 更

西北五広域福祉事務組合  
 の新たな事務を行うための  
 規約変更。

■ 介護保険特別会計補正予  
 算第四号

車輛の全損に伴い、歳入  
 の雑入へ七〇万円を追加。  
 歳出は地域支援事業費に車  
 輛購入費として七〇万円を  
 追加。



排雪中のロータリー車

# 新年度予算新規事業多数

合併十周年記念式典・ゆるきやら制作PR  
海岸漂着物対策・デジタル防災行政無線

■ 中泊町全会計予算額一覧 (単位:千円・%)

## 予算特別委員会

3月11日・12日

三月十一日から十二日の二日間、全議員をもって構成する予算特別委員会(委員長青山雅晴、副委員長長川山光則)が開かれました。十三日には、採決が行われ、いずれも全会一致で認定されました。



青山委員長

会 計	本年度予算額	前年度予算額	増 減 比 較		
			増減額	増減率	
一般会計	6,972,000	6,675,000	297,000	4.4	
国民健康保険 (事業勘定)	2,218,943	2,365,238	△ 146,295	△ 6.2	
国民健康保険 (施設勘定)	243,636	315,645	△ 72,009	△ 22.8	
介護保険事業	1,485,743	1,418,851	66,892	4.7	
農業集落排水事業	40,149	40,507	△ 358	△ 0.9	
漁業集落排水事業	20,200	20,679	△ 479	△ 2.3	
特別養護老人ホーム静和園事業	318,678	317,754	924	0.3	
後期高齢者医療	271,570	252,504	19,066	7.6	
水道事業	収益的収入	383,959	339,685	44,274	13.0
	収益的支出	332,997	311,511	21,486	6.9
	資本的支出	190,672	201,043	△ 10,371	△ 5.2

## 主な当初予算 (一般会計分)

- ◇ 総務費
  - 新庁舎建設事業 七二四六万円
  - 防災カメラ導入事業 一二二八万円
  - 中泊町ゆるきやら制作PR事業 一九七万円
- ◇ 農林水産業費
  - 農村地域防災減災事業 五〇七万円
  - 農業振興地域策定事業 八六〇万円
  - 海岸漂着物地域対策推進事業 二七三四万円
- ◇ 農工商費
  - 北海道新幹線開業対策事業 二八八万円
  - 町の魅力PR事業 二四五万円
  - 今泉橋補修工事費 五〇〇五万円
- ◇ 土木費
  - 公営住宅建設事業 二億七四一五万円
  - 町道354号線融雪溝整備事業 五〇〇五万円
  - 折戸下前線岩石崩壊対策事業 四〇一〇万円
- ◇ 民生費
  - 臨時福祉給付金支給事業 三九八四万円
  - 子育て世帯臨時特例給付金支給事業 九八〇万円
  - 今泉橋補修工事費 五〇〇五万円
  - 消防救急無線デジタル化整備事業 九三三一万円
  - 中里消防署救急車更新事業 三七六四万円
  - デジタル移動系防災行政無線整備事業 一億八五〇四万円
  - 総合文化センター舞台吊り物ワイヤーロープ取り替え工事費 一〇六七万円
  - 長期債元金 九億九二七三万円
  - 長期債利子 一億三九六八万円
- ◇ 教育費
  - 教育費 一億八五〇四万円

# ・人口減少時代、町の取り組みは ・健康寿命の延伸対策は

## 一般質問



4年生以上も対象となった学童保育



塚本悦子議員

Q

町は県内でも上位の転出超過であり、年々人口の減少傾向が拡大しているが、町の転出超過並びに少子化防止に対してどのように考えているか。

A

■小野町長

近年減少傾向が続いており、主要因として、自然人口の減少、社会人口の減少が大きな要因と考えている。

雇用の創出のために第一次産業の基盤整備、農家所得の向上、6次産業化のための農産物直売加工施設の建設に取り組んでいる。教育については、

計画的な施設の整備改修等、安全で快適な教育環境づくり、また子どもたちが夢と希望を持てるような国際交流等を推進している。

住宅については、定住化促進のため、新団地の建設に着手しており、居住環境の整備のため流雪溝の整備や道路整備等のインフラ整備に取り組んできた。少子化対策として、子育て支援、保育料の免除、学童保育、乳幼児医療給付等の事業と、子育て環境の充実に努めている。

明るく活力のある、住みよい町を目指す事を約束し、住みやすい、住んで良かったと思える町づくりを推進し、町の特性を生かした独自の施策や、民間活力を活用した施策等も検討し、人口減少に歯止めをかける。

Q

厚生労働省では健康寿

命が延伸する社会に向けた予防健康管理に変わる主要な取り組みを公表したが、町の健康寿命の延伸対策についてどのように考えているか。

A

■太田町民課長

県では、全国との健康格差の縮小を目指す事を目標に、健康あおもり21(二次)を策定している。

当町では健康寿命の延伸を最終目標とした健康なかどまり21の計画に基づき、健診、食生活、運動、禁煙、飲酒、歯科保健、心の健康、子供の健康の八つの目標を掲げ、保健センターを中心に健康寿命の延伸に取り組んでいる。

今後、健康寿命の延伸対策は、



中泊町保健センター

一人一人の知識、意識、考え方を変えていくことが重要であり、保健センターで実施している各種講座及び健康事業等を通じ、病気の早期発見、早期治療、生活習慣病の発生源予防と重症化予防の重要性を周知、啓発していく。

# ・ 漁船の燃油・経費高騰、何か支援策を ・ 新たな漁業振興対策・販売戦略ないか



出港する漁船

ここ数年の燃油の高値や増税による経費高騰により漁業者が苦しんでいる。新しい対策はないか。



川山光則議員

■小野町長  
平成二十六年年度から五年計画で県事業により、水産環境整備事業が始ま



消費者の魚離れの影響で、魚の値段が安く、また売り先も少ない状況にある。何か対策はないか。



ここ数年の燃油の高値や増税による経費高騰により漁業者が苦しんでいる。新しい対策はないか。



漁業所得補償対策として漁業収入安定化対策事業の継続や磯焼け対策事業の緩和等を水産庁長官へ要望している。また、水産庁では漁村の地域が真の活性化を目指すための処方箋として、浜の活力再生プランを進めており、水産業の持続的発展及び活力ある漁村を実現するための支援に向け、今後両漁協と協議していく。

町として、平成二十六年年度に県の総合販売戦略課と協議し、元気な水産物を大手スーパーに売り込むため、今後も県、両漁業と一体となり漁業振興対策に取り組んでいく。

これは藻場の構成や魚礁の整備を行い、資源の増大による漁業経営の安定・強化を図るものである。また、両漁協では、漁価の高騰対策として、活イカで出荷、海水ろ過殺菌冷却装置により食の安全・安心への効果と鮮度保持を全面的に周知し、消費者への認知度を高め、市場への優位性を行っている。



販売時の活イカ

一般質問は  
インターネット・ライブ中継が  
ご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにもテレビ中継されています。ぜひご利用ください。



HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

# ・ 減反に変わる町の農業振興策は何か



荒関富雄議員

Q

新年度予算に農業振興地域整備について予算が盛り込まれているが、どのような整備計画を策定するのか。

A

■小野町長

日本の農業行政がおよそ四十年ぶりに減反政策を廃止する方向を打ち出すなど、大きな転換期を迎えているが、国では攻めの農業生産を政策に打ち出しており、当町においても国の方針にのっとった推進が最善の策である



十三湖土地改良区

Q

農地集積、集約化等、担い手の育成を重視し、農業振興地域整備計画に反映させたい。

A

■小野町長

新規事業である農地中間管理機構を用い、大規模

当町の基幹産業である農業では様々な農作物が作られているが、どのようにに次世代へ連携させていくのか、町独自の農業振興策を示せ。



高校生まちづくり塾

模範経営を目指す。また十三湖土地改良区で実施予定の圃場整備を実施することにより農地の集積、集約化に繋がるので、積極的に推進していく。新規農業者の参入については、大規模化によって所得の安定が図られることにより、担い手が生まれてくると考える。また、各高校とタイアップし、若者の農業ニーズについても意識調査を行う予定である。

今後、国の動向をいち早く察知し、限られた期間で当町の農業を守り抜くよう最善の努力をする。

## 議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 2月26日(水)

### 〈案 件〉

- 平成26年第1回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 陳情等の委員会審査結果について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他



委員会だより

議会の動き

1月

24日 西北郡町村議会議長会議長事務局長会議  
30日 民生文教常任委員協議会

12日 こども議会

中泊町農業再生協議会総会

14日 県選出国会議員要請活動

15日 津軽・東京吹雪の会総会

19日 県町村議会議長会定期総会

25日 西北五広域福祉事務組合定例会

26日 議会運営委員会

民生文教常任委員会

総務企画常任委員協議会

2月

3月

5日 定例会開会日

10日 定例会一般質問

11日 予算特別委員会

12日 予算特別委員会

13日 単行案審議・採決・閉会

24日 つがる西北五広域連合定例会

西北五環境整備事務組合定例会

要請活動

青森県選出国会議員への要請活動を実施

町と議会が合同で、2月14日(金)、青森県選出国会議員への要請活動を行いました。要望事項は、次のとおりです。

- ①経営所得安定対策の交付単価見直しに係る基準単収の適正な設定について
- ②漁業用燃油高騰対策に係る現行制度の見直し、漁業者救済措置の強化について



津島淳衆議院議員への要請活動